

梅 檀

やんばる環境・美化センター見学(四年生)



ゴミの焼却についての説明を受けました



袋いっぱいになりました



四年生は六月三日に、宇嘉

にあるやんばる環境センター・美化センターに見学に行きました。ここでは家庭や回体から集められた「ゴミがどのように処理されているのかを学びました。特に印象的だったのが、缶の分別作業体験です。実際に缶の分別をしようとフライパン・水筒・お皿など関係のないものが出てきたり、中身が残っていたり、虫が出てきたりと、わずかな時間でしたが、その労力は大変なものでした。子どもたちはその作業をいやな顔せず、子どもとは思えない手際よさで、分別していきました。普段から給食当番も掃除も一生懸命やる子たちです。さすがです。皆さん家庭での分別をお願いします。

交通安全指導

交通ルールを守ろう!



六月、名護警察交通安全課の方をお招きし、交通安全指導を行いました。今回、一・二年生は正しい横断歩道の渡り方、三・六年生は自転車の正しい乗り方を教わりました。一・二年生は横断歩道を渡るときに「右見て・左見て・もう一度右を見て」のお巡りさんの声に、大きく手を上げて、首だけではなく体をしっかり向けて確認していました。三・六年生は自転車事故の実際をDVDで見て、交通ルールの大切さを学んでいました。みなさん、事故に遭わないよう十分気をつけましょう。

平和の願いを胸に・・・「平和学習会」



六月十日、地域の戦争体験者の方をお招きして、「平和学習会」が行われました。今回は五名の方が戦火を逃れながら、どのような生活を送ったのか、戦争とはどのようなものなのか、命の大切さなど、想像もつかないような体験を踏まえて、お話ししてくれました。子どもたちは、真剣に

お話を聞いて命の尊さを感じていました。



大城正和さん・大城盛正さん



知花ヒロ子さん



宮城克松さん



渡慶次正子さん

六年生代表 お礼の言葉【山城瑠輝さん】

宮城克松さん、今日は辺土名小学校「平和学習会」の講師として沖縄戦について教えていただきありがとうございました。今日宮城さんの話を聞いて、へごソナツは毒抜きをしないと食べられないことや、沖縄では壮絶な戦いが起こり住民は虐殺されるなどの地獄のような戦場だったと聞き、沖縄戦のことがよくわかりました。宮城さんが体験した苦しく悲しい出来事について聞き、もう二度と戦争をしてはいけなく強く感じました。世界では未だに戦争はなくなりません。そして戦後七十七年経った今でも戦争の爪痕は残り、悲しみを背負っている人がいます。しかし、絆を大切にすれば、世の中は平和になるのではないのでしょうか。ほくは人と人の絆を大切に、人の痛みがわかる人になりたいと思います。今日は本当にありがとうございました。